

平成15年9月4日

各位

株式会社メタルワン
J F E コンテナ株式会社
新日本製鐵株式会社

ペール缶事業統合について

株式会社メタルワン（社長 水谷 正史）とJ F E コンテナ株式会社（社長 近藤 徹）および新日本製鐵株式会社（社長 三村 明夫）は、本年4月に、設備の集約、管理間接部門の合理化、資材・物流コスト等の削減によるペール缶事業の競争力及び収益力強化、ならびに技術・研究課題の共有化と設備投資の集中化による商品開発力及び品質対応力の強化を図ることを目的として、ペール缶事業を統合する方針を相互に確認致しました。

その後、具体的な協議を進めた結果、基本方針通り下記内容にて合意に達し、株主間協定書を締結致しました。

当該事業統合会社（以下、新会社）は、(株)ユニコン（社長 寺中 捷郎/株メタルワン実質100%子会社）の営む全事業、J F E コンテナ(株)（大証二部上場）のペール缶事業部門および大同鉄器(株)（社長 羽田 隆司/日鉄鋼板(株)100%子会社）の営む全事業を承継する方針です。

なお、当該事業統合に先立ち、新日本製鐵(株)は日鉄鋼板(株)から大同鉄器(株)の株式をすべて取得し、新会社に直接資本参加致します。

新会社の設立時期

平成16年1月1日

2. 新会社の概要

商号 : 株式会社 ジャパンペール（予定）
本社所在地 : 大阪府大阪市西区（予定）
主な役員 : 代表取締役社長 寺中 捷郎（予定）/ 現ユニコン代表取締役
資本金 : 3億円（予定）
出資比率 : メタルワン : J F E コンテナ : 新日本製鐵 = 4 : 3 : 3
設備 : ペール缶製造ライン6基（千葉1、高石2、尼崎2、伊丹1）
 中小型ドラム缶製造ライン1基、その他（鋼板印刷ライン等）
生産数量 : 約100万缶/月（ペール缶および中小型ドラム缶）
 （千葉15万缶/月、高石：36万缶、尼崎：33万缶、伊丹：16万缶）
売上規模 : 約60億円/年程度

3. 新会社の生産体制

新会社は、現J F E コンテナのペール缶事業部門のうち伊丹工場について、統合後一年以内を目処に閉鎖し、現J F E コンテナ/千葉工場と現大同鉄器/尼崎工場と現ユニコン/高石工場に、ペール缶の生産を集約し効率的な生産体制を目指します。さらに、新会社の競争力をより一層高める観点から、最適な生産体制および生産拠点の集約について、継続して検討を進めていきます。

また、中小型ドラム缶及び器物につきましても、新会社が事業を継承・継続致します。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社メタルワン	営業総括・広報ユニット	黒崎 (Tel03-6400-2900)
J F E コンテナ株式会社	企画部長	田辺 (Tel072-780-6105)
新日本製鐵株式会社	広報センター マネジャー	内田 (Tel03-3275-5022)

以上

平成15年9月4日

各 位

上場会社名	JFE コンテナ株式会社
本社所在地	兵庫県伊丹市荒牧字下鍵田10番地
コード番号	5907
上場取引所	大阪証券取引所 市場第二部
問い合わせ先	企画部長 田辺 誠一
電話番号	072-780-6105

ペール缶事業の統合について

このたび、株式会社メタルワン、JFE コンテナ株式会社、新日本製鐵株式会社は、平成16年1月1日をもって、株式会社ユニコン(株式会社メタルワンの実質100%子会社)の全事業、JFE コンテナ株式会社のペール缶事業部門、及び大同鉄器株式会社(日鉄鋼板株式会社の100%子会社、統合に先立ち新日本製鐵株式会社が全株式を取得)の全事業の統合を行うことを決定、株主間協定書を締結することといたしました。

以下、その概要についてお知らせします。

1. 統合の主旨

統合当事会社3社はこれまでペール缶事業の収益改善を目指して徹底的な販売活動・コスト削減に取り組んでまいりましたが、ペール缶業界全体の総需要の減退等、依然として極めて厳しい状況にあります。本統合により、設備の集約、管理間接部門の合理化、資材、物流コストの削減によるペール缶事業の競争力及び収益力の強化、ならびに技術・研究課題の共有化と設備投資の集中化による、商品開発力及び品質対応力の強化を行い、本事業の生き残りをかけてより一層の経営の効率化とコスト削減を実現するため、新たな事業体制を構築するものです。

2. 統合の要旨

(1) 統合の日程

平成15年	9月	4日	株主間協定書承認機関決定
	9月	4日	株主間協定書調印
	11月	上旬	統合契約書調印
	11月	20日	(予定)統合承認株主総会(ユニコン、大同鉄器)
平成16年	1月	1日	統合期日
	1月	5日	合併登記、分割登記

(注) JFE コンテナ株式会社のパール缶事業部門の分割は、簡易分割の手続きにより実施いたしますので、商法第 374 条ノ 17 第 1 項に定める株主総会の承認を得ずに行います。

(2) 統合方式

株式会社ユニコンを承継会社とし、JFE コンテナ株式会社を分割会社とする吸収分割、及び株式会社ユニコンを存続会社とし、大同鉄器株式会社を消滅会社とする吸収合併です。

(3) 統合比率

1. 統合比率

統合新会社の株主である、株式会社メタルワン、JFE コンテナ株式会社、新日本製鐵株式会社の議決権割合は 4 : 3 : 3 とします。

2. 統合比率の算定根拠

第三者機関としてみずほコーポレートアドバイザーズ株式会社を起用し、統合当事会社 3 社の基礎資料を開示して、企業価値評価を行いました。同社では、統合当事会社 3 社それぞれの時価純資産価値及び DCF (ディスカウントキャッシュフロー) 法による事業価値をそれぞれ 50% のウエイトで合算し、企業価値評価として提示いたしました。

同社提示の企業価値評価を踏まえ、株主 3 社間で協議・調整を行い、上記統合比率といたしました。なおこの統合比率について、同社より妥当であるとの評価を得ております。

3. 統合当事会社の概要

(1) 商号	株式会社ユニコン	JFE コンテナ株式会社	大同鉄器株式会社
(2) 事業内容	ペール缶、鋼製ドラム缶、18L缶、その他金属容器、プラスチック容器の製造販売・金属印刷業	ドラム缶、ペール缶、各種高圧容器の製造および販売	ペール缶、中小型ドラム缶等の製造および販売・金属印刷業
(3) 設立年月日	昭和42年6月	昭和36年4月	昭和22年12月
(4) 本店所在地	大阪府高石市高砂2丁目7番	兵庫県伊丹市荒牧字下鍵田10番地	兵庫県尼崎市杭瀬南新町3丁目2番21号
(5) 代表者	代表取締役 寺中 捷郎	代表取締役社長 近藤 徹	代表取締役社長 羽田 隆司
(6) 資本金	300百万円	2,365百万円	96百万円
(7) 発行済株式総数	600,000株	28,675,000株	192,000株
(8) 株主資本	462百万円 (平成14年12月31日現在)	8,243百万円 (平成15年3月31日現在)	214百万円 (平成15年3月31日現在)
(9) 総資産	2,822百万円 (平成14年12月31日現在)	13,956百万円 (平成15年3月31日現在)	1,854百万円 (平成15年3月31日現在)
(10) 決算期	毎年12月31日 (平成14年12月以降)	毎年3月31日	毎年3月31日
(11) 従業員数	74人 (平成14年12月31日現在)	398人 (平成15年4月1日現在)	101人 (平成15年3月31日現在)
(12) 主要取引先	新日本石油株式会社 昭和シェル石油株式会社 コスモ石油株式会社 ユシロ化学工業株式会社 ペンギンワックス株式会社	住化パルケル株式会社 三菱化学株式会社 新日本石油株式会社 出光興産株式会社 昭和シェル石油株式会社	トヨタ自動車工業株式会社 JFE石油サービス株式会社 昭和シェル石油株式会社 日本グリース株式会社 三洋電機株式会社
(13) 大株主及び持株比率	日商岩井金属資源株式会社(80.1%) 浅見商工株式会社(19.9%) (メタルワン実質100%子会社) (平成14年12月31日現在)	JFEスチール株式会社(47.2%) 伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社(10.9%) 川商システム株式会社(8.9%) (平成15年4月1日現在)	日鉄鋼板株式会社(100%) (平成15年3月31日現在)
(14) 主要取引銀行	東京三菱銀行、愛知銀行 りそな銀行、泉州銀行	みずほコーポレート銀行 日本生命保険相互会社 三井住友銀行、東京三菱銀行	UFJ銀行、東京三菱銀行 みずほ銀行 尼崎信用金庫
(15) 当事会社の関係	資本関係	当事会社間に資本関係はありません。	
	人的関係	当事会社間に人的関係はありません。	
	取引関係	JEE コンテナ株式会社及び大同鉄器株式会社と株式会社ユニコン及び大同鉄器株式会社は相互に製品を供給しており、株式会社ユニコンはJFE コンテナ株式会社に製品を供給しています。	

(16) 最近3決算期間の業績	株式会社ユニコン			JFE コンテナ株式会社			大同鉄器株式会社		
	13年 3月期	14年 3月期	14年 12月期	13年 3月期	14年 3月期	15年 3月期	13年 3月期	14年 3月期	15年 3月期
売上高(百万円)	2,621	2,420	1,834	14,215	11,471	10,032	2,649	2,206	2,087
営業損益(百万円)	94	48	48	318	225	275	39	58	28
経常損益(百万円)	104	32	35	332	265	310	59	80	6
当期純損益(百万円)	2	9	10	96	31	168	84	108	40
1株当たり当期純損益(円)	4.94	15.91	17.65	5.18	1.67	9.03	437.30	563.49	211.58
1株当たり配当金(円)	-	-	-	4.00	4.00	4.00	-	-	-
1株当たり株主資本(円)	737.82	753.73	771.39	463.49	455.67	441.03	2,053.55	1,492.67	1,116.88

(注) 株式会社ユニコンは決算期を平成14年4月1日から始まる決算期間から12月31日に変更しており、平成14年12月期の決算月数は9ヶ月であります。

また、川鉄コンテナ株式会社は平成15年4月1日に鋼管ドラム株式会社と合併し、JFE コンテナ株式会社に商号変更をしましたが、財務に関する記載事項(8),(9),(16)は合併前の数値であります。

4. 統合新会社の概要

いずれも統合当事会社間において協議・決定いたしますが、現時点での予定は以下の通りであります。

(1) 商号	株式会社 ジャパンペール
(2) 本社所在地	大阪府大阪市西区
(3) 代表取締役	寺中 捷郎 (現株式会社ユニコン代表取締役)
(4) 資本金	3億円

5. JFE コンテナ株式会社分割する事業部門の内容

(1) ペール缶部門の内容

ペール缶の製造・販売およびこれに付随する業務

(2) ペール缶部門の平成 15 年 3 月期における経営成績

	ペール缶部門 (A)	平成 15 年 3 月期実績 (B)	(A) / (B) × 100%
売上高	1,894 百万円	10,032 百万円	18.8%

(3) 譲渡資産、負債の項目および金額

資 産		負 債	
項 目	帳簿価格	項 目	帳簿価格
流 動 資 産	628 百万円	流 動 負 債	392 百万円
固 定 資 産	337 百万円	固 定 負 債	0 円
合 計	965 百万円	合 計	392 百万円

これらはいずれも 15 年 3 月期末の残高にもとづく金額であります。

6. 分割後の JFE コンテナ株式会社の状況

(1) 商号・事業内容・本店所在地・代表者・資本金・決算期

いずれも分割による異動はありません。

(2) 総資産

5 (3) により総資産は 392 百万円減少いたします。

(3) 業績に与える影響

本分割は分社型 (物的) 吸収分割であります。したがって、当社の純資産額は分割前後において変化いたしません。

また、今後の当社単独業績は、年間売上高は約 18 億円減少しますが、経常利益への影響は軽微であります。

連結では、統合新会社における統合効果の発揮による収益改善が貢献し、業績に好影響を与えるものと確信しております。

(4) 分割後の JFE コンテナ株式会社の業績見通し

	第 43 期
--	--------

	(平成15年4月1日～平成16年3月31日)
売上高	17,900百万円
経常利益	520百万円
当期利益	180百万円
1株当たり年間配当金	4円0銭

(注) 会社分割により売上高は450百万円減少しますが、経常利益、当期利益に与える影響は軽微であります。

(5) 分割後のJFEコンテナ株式会社連結業績見通し

	第43期 (平成15年4月1日～平成16年3月31日)
連結売上高	24,250百万円
連結経常利益	600百万円
連結当期利益	200百万円

(注) 会社分割により売上高は450百万円減少しますが、経常利益、当期利益に与える影響は軽微であります。

以上